教育委員会

1　佐賀市教育振興基本計画

佐賀市教育委員会では、佐賀市ならではの教育施策を進めていくためには、0 歳から義務教育修了時の 15 歳までの「子どもの育ち」を念頭に入れた中期的な視点で教育の方向性を定める必要があるとの認識のもと、平成 18 年 3 月、初めての中期的な計画（5 年間）である「佐賀市教育振興基本計画」を策定した。

その後、平成 23 年 4 月に「第 2 次佐賀市教育振興基本計画」を、平成 27 年 4 月には「第 3 次佐賀市教育振興基本計画」、令和 2 年 3 月に「第 4 次佐賀市教育振興基本計画」を策定して、将来を展望した教育施策を総合的に推進してきた。

令和 6 年度で「第 4 次佐賀市教育振興基本計画」が最終年度となったことから、これまで実施した様々な事業と課題を検証し、上位計画である第 3 次佐賀市総合計画を踏まえたうえで、佐賀市の教育行政の基本的な方向性を示す「第 5 次佐賀市教育振興基本計画」を令和 7 年 3 月に策定し、取組を推進している。

(1)　佐賀市教育振興基本計画の「基本目標」「基本方針」

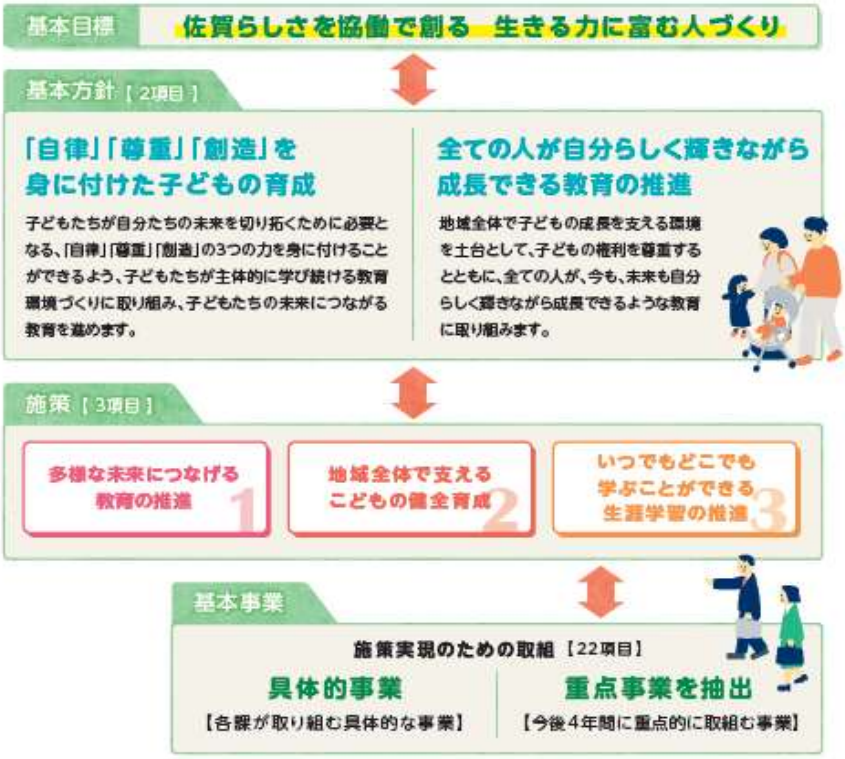
基本目標　佐賀らしさを協働で創る　生きる力に富む人づくり

基本方針　◇「自律」「尊重」「創造」を身に付けた子どもの育成

◇全ての人が自分らしく輝きながら成長できる教育の推進

(2)　佐賀市教育振興基本計画の「施策の展開」

佐賀市教育委員会では、基本目標に掲げる『佐賀らしさ協働で創る 生きる力に富む人づくり』を実現するため、『「自律」「尊重」「創造」を身に付けた子どもの育成』、「全ての人が自分らしく輝きながら成長できる教育の推進」という 2 つの基本方針を設定し、その基本方針を達成するために 3 項目の「施策」を掲げ、体系的に施策を展開していくことにより、基本目標の実現を図る。



２　教育長・教育委員

役　職　名	氏　　名	職　　業	就任年月日	委員現任期
教育長	丹宗　成一	公務員	R5.11.5	R5.11.5 R8.11.4

※任期３年で再選されることができる。

役　職　名	氏　　名	職　　業	就任年月日	委員現任期
委員 （教育長職務代理者）	堤　和義	会社員	H29.11.5	R7.11.5 R11.11.4
委員	鳥飼　亜由美	弁 護 士	R2.11.5	R6.11.5 R10.11.4
委員	長﨑　美聡	保護者代表	R4.11.5	R4.11.5 R8.11.4
委員	山田　久三江	元短大准教授	R5.11.5	R5.11.5 R9.11.4
委員	槇原　靖宏	元保育園長	R6.11.5	R6.11.5 R10.11.4

※任期４年で再選されることができる。

３　就学後の教育の充実

(1)　義務教育の充実

①　佐賀市学校教育ビジョンの推進

佐賀市では「子どもの well-being の実現」という最上位目標のもと、子どもの主体性を伸ばすために、「自律」「尊重」「創造」の３つの力を育みます。

②　キャリア教育推進事業

現行教育課程で重視されている小学校における商業体験や職業教育、中学校における職場体験を通した職業観教育や進路学習などの「キャリア教育」の充実を図るための支援を行う。

令和 7 年度実践校	職　場　体　験 職　業　体　験	佐賀市立全中学校 18 校

③　ＡＬＴの活用推進

小中学校に、英語を母国語とする者、または同等の能力を有する外国語指導助手（ＡＬＴ）を配置する。

実際に生きた英語に触れ、英語を使った自分の考えや気持ちを伝え合う言語活動を通して、小学校 3，4 年生ではコミュニケーションを図る素地となる資質・能力を、5，6 年生ではコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。中学校では、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。また、ＡＬＴとの体験的な触れ合いが、文化等の理解を深め、国際理解教育にも役立つ。

④　オンライン英会話

中学 1 年生を対象に、一人一台端末を活用した海外在住の外国人講師による「オンライン英会話」を試験導入する。一人一人が外国人講師とやりとりをする経験をすることによって、子どもたちの外国語によるコミュニケーションへの意欲や、国際理解への興味・関心を高める。

⑤　各種大会出場助成

学校教育の一環として行っている部活動等で全国及び九州規模の各種大会に出場する児童生徒に対し、遠征費用の一部を補助金として交付し、保護者の負担軽減と競技力・技術力の向上を図る。

⑥　早稲田・佐賀 21 世紀子どもプロジェクト

早稲田大学との連携により、21 世紀の日本を担う人材の育成を図る。

市内在住の中学生を対象とした出前講座や教職員講座、大隈重信をテーマにしたスピーチコンテスト等を開催することにより、子どもたちが大隈重信やふるさと佐賀への理解を深め、郷土の良さを見直す機会や、教職員の資質向上の機会を提供する。

⑦　学校災害共済・賠償補償保険給付事業

（独）日本スポーツ振興センター災害共済給付制度（児童生徒対象）及び全国市長会学校災害賠償補償保険に加入することにより、学校におけるケガや事故に備え、学校教育、学校業務の円滑な推進を図る。

⑧　ふるさと学習支援事業

佐賀市を学ぶ「ふるさと学習」を支援することを目的とし、バス借り上げにかかる費用

を助成する。子どもたちに豊かな自然や文化的・歴史的遺産を体験できる機会や先人にまつわる施設・名所を見学する機会を提供することにより、ふるさとを愛し佐賀を誇りに思う心をはぐくむ。

⑨　環境教育の推進（主管：環境政策課）

小中学校における環境教育を推進するために、環境政策課と連携し、各学校の環境教育の現状を把握し、研修などを通して学校支援を行う。

⑩　学校版環境ＩＳＯの取組（主管：環境政策課）

児童生徒と教職員が環境について考え、環境保全を実践し、環境にやさしい学校マネジメントシステムを目指す取組を行う。

平成 14 年度に佐賀市と佐賀市教育委員会が設けた「学校版環境ＩＳＯ制度」により、各学校が独自に作成した実行計画をもとに取り組む。

⑪　学校経営方針の明確化と学校運営の改善

個性を活かした特色ある開かれた学校づくりを推進するため、各学校では、教育目標を分かりやすく示すとともに、より具体化した教育計画の策定に努める。教育目標を具現化するために、各学校では、学校運営組織の見直しに取り組み、組織としての機能の充実に努める。

⑫　到達度等調査研究事業

市立小中学校の児童生徒の学習到達度や学習状況等を調査・分析し、指導法改善や児童生徒の理解に活かす。また、児童生徒一人一人についての理解と対応方法、学級集団の状態と学級経営の方針を把握できる標準化された心理テストを実施し、学級経営に役立てることで学力向上の取組を行う。

⑬　教育委員会マネジメント事業

教育委員会が、教育行政のリーダーシップをとるための体制づくりを強化する。また、教育行政への理解と関心を高めるために教育情報の提供の充実を図る。

⑭　小中学校のマネジメント支援事業

学校の独自性を高める教育活動に関わる事業について学校長からの申請を受け付け、申請に基づいて教育長が査定を行い、学校長の目標とする特色ある学校運営に資すると認めたものについて事業費を配分し、各学校が申請内容に沿った事業を実施する。

［申請事業の主な内容］

◇　学校目標の実現のための学校の強みの強化、弱みの補強を図る事業

◇　地域との連携による地域に開かれた特色ある学校づくり又は地域人材を活用した授業や活動を行う事業

◇　小中連携事業に係る経費を支援するもの

⑮　学校評議員等活用事業

学校の教育課題や教育活動について、保護者や地域住民等の意向を把握し反映させるため、学校運営協議会委員（各校 15 名程度）または学校評議員（各校 5 名）を委嘱する。学校では、校長が年 3 回程度、学校評議員の意見を反映させるための会議の開催や、個別に意見を述べてもらう場を設定する。また「学校関係者評価」の評価者として、学校自己評価に対する意見や改善策等を述べてもらい、今後の学校運営に活かすとともに、学校と地域・保護者をつなぐ役割を担う。

令和７年度配置実績		
	学校運営協議会	学校評議員
小学校	勧興小、赤松小、西与賀小、高木瀬小、北川副小、本庄小、金立小、久保泉小、新栄小、若楠小、川上小、中川副小、大詫間小	循誘小、日新小、神野小、嘉瀬小、巨勢小、兵庫小、鍋島小、開成小、春日小、春日北小、北山東部小、南川副小、西川副小、東与賀小、思斉小
中学校	城南中、城西中、城北中、金泉中	成章中、昭栄中、城東中、鍋島中、大和中、川副中、東与賀中、思斉中
小中合同	松梅小・松梅中 富士小・富士中 諸富北小・諸富南小・諸富中	芙蓉小・芙蓉中 北山小・北山中 三瀬小・三瀬中

⑯　学校外部評価システムの充実

校長、教職員、児童生徒、保護者による自己評価に加えて、保護者、地域住民、学校評議員等による学校関係者評価を全校で実施し、評価を生かした信頼される学校づくりを目指す。

⑰　教育委員会の評価制度

教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するために、評価委員会を設置し、教育委員会による自己評価に加え、評価委員会による第三者評価を行い、事業の継続的な改善を図っていく。また、教育政策市民満足度調査結果を施策に反映させることで、市民の意見を反映した教育施策を進めていく。

⑱　学校事務改善事業

教員の事務負担を軽減することで、学校経営管理時間を創出し教育の質の充実を図ることを目的に、学校事務共同実施協議会を設置し市内 10 ブロックで学校事務の共同実施を行う。また、学校事務や教育活動を円滑に進めるための支援をする。

⑲　教科等研究会研究委託事業

本市教育における課題解決のために、学校内の研修だけでなく、学校を超えて各教科等部会を組織する。そしてそれぞれの教科で学習指導要領の趣旨を踏まえた喫緊の教育課題について研究テーマを設定し、事例研究や授業研究会を実施して研究協議を行い、指導方法の工夫・改善及び指導内容の充実を図るなど、学校教育の一層の充実を図る。

⑳　研究指定校委嘱事業

本市教育の推進に関する研究を学校に委嘱し、教育課題の解明に努め、本市教育の発展を図る。佐賀市研究委嘱校の指定（原則２年間）を行い、その成果を研究発表等で広く公開する。また、国や県の研究指定も併せて行い、教職員のより一層の資質向上を目指す。

㉑　佐賀市教育研究所運営事業

教育界の動向及び児童生徒の喫緊の課題や実態等を的確に捉えた調査･研究、情報･資料の収集・提供・広報等を行う。特に、市の課題に対しては、年間４回程度の研究所員会を開催し、研究・検討を深めていく。その成果については、研究授業・授業研究会の開催、

電子データの活用によって広く公開する。

令和７年度実績	部会名
	国語部会、算数・数学部会、理科部会、協働的な学び部会

㉒　学校フリー参観デーの開催

市内各小中学校において、年間２回実施する。開かれた学校づくりの一環として、授業や給食など教育活動の参観を児童生徒の保護者だけでなく広く市民にも公開し、佐賀市の教育に対する理解促進を図る。

令和７年度 参観者実績	第１回目（６月）	第２回目（秋）
	22,813 人	20,822 人

㉓　コミュニティ・スクール推進事業

地域と学校が目標やビジョンを共有し、地域が一体となって子どもを育むことを目指すコミュニティ・スクールの設置を推進する。

	令和７年度設置校
小　学　校	勧興小・赤松小・西与賀小・高木瀬小・北川副小・本庄小・金立小・久保泉小・新栄小・若楠小・川上小・中川副小・大詫間小
中　学　校	城南中・城西中・城北中・金泉中
小中一貫校	松梅校・富士校
－－中学校区	諸富中学校区（諸富北小・諸富南小・諸富中）

㉔　生徒会活性化事業

佐賀市教科等研究会特別活動部会との協働で、生徒会役員リーダー研修会を開催し、生徒のリーダー性を伸ばすとともに、生徒会が自分たちで企画・立案・実行する中学校パワーアッププラン事業を行い、生徒会活動を通して主体性を育む。

㉕　学校職員安全衛生管理事業

市立小中学校の安全衛生管理体制を整備し、教職員の安全の確保及び健康の保持を行う。各学校は衛生・健康管理委員会を、教育委員会は学校総括安全衛生委員会を開催し、職員の健康保持増進に関することを協議する。また、精神科医によるカウンセリングやストレスチェック、教職員対象の研修会を実施する。

㉖　学校業務改善推進事業

教職員の多忙化解消のための業務改善策を検討・実施し、事務負担軽減を図り、児童生徒と接する時間の確保及びきめ細かな教育指導の充実につなげる。

㉗　教職員用情報機器整備事業

校務の情報化、情報共有を推進するため、小・中学校の校務サーバー及び教職員１人１台整備した校務用パソコン並びに校務管理システムの維持管理及び運用を行う。また、学

校ヘルプデスクを配置し、情報機器の運用支援及び障害対応を行う。

㉘　小・中学校運営経費

学校の運営や施設の管理に要する経費（消耗品費、燃料費、光熱水費、備品購入費、修繕料、検査手数料、警備ほか施設管理委託料、原材料費等）において、各学校の実情に応じた予算編成を行うことで、自主・自律性が発揮できる学校運営を図っている。

㉙　小・中学校教材整備事業

一般教材や音楽教材、体育教材など学校の授業で必要な教材の整備や副読本の作成を行い、学校教育の振興及び教育の向上を図っている。

㉚　理科教育振興事業

小中学校の理科の授業で必要な備品を整備し理科教育の振興を図っている。理科教育振興法の設置基準に定められている設備を整備する場合、その設備に要する費用の 2 分の 1 を国が補助する。隔年で、小学校と中学校を整備している。

㉛　部活動指導員活用事業

部活動指導員を活用し、教員の負担軽減や生徒の多様なニーズに対応した部活動指導体制の充実を図り、より適正な部活動の在り方を推進する。

㉜　教員業務支援員配置事業

教職員の業務をサポートし、教職員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備するため、小中学校に教員業務支援員を配置する。

㉝　部活動地域展開推進事業

健全で持続可能な「教育環境」「文化・スポーツ環境」を創り出していくため、学校部活動の適正化を進める。また、地域とともに、子どもたちの多様な価値観、考え方に応えることができる選択肢を創出し、幅広い活動機会の確保に取り組む。

(2)　学校体育の推進

①　学校体育の充実

体育・スポーツ活動を通して、健康で明るい生活を営み、健康の保持増進、体力の向上を図っていくための正しい理解と望ましい習慣を身につけさせるため、次のような事業を実施している。

- 体育主任会や各種実技講習会の開催等による指導者の資質の向上
- 各種体力・運動能力調査に基づく小・中学生の運動能力の実態把握

(3)　いじめ、不登校等対策と特別支援教育の充実

①　スクールカウンセラー活用事業

小中学校での不登校の増加による教育相談事業の重要性を考慮し、児童生徒の臨床心理に関して高度の専門的な知識・経験・資格（臨床心理士等）を有する専門のスクールカウンセラーを各小中学校に配置し、学校におけるカウンセリング機能の充実を図る。具体的活動としては、悩みを抱えている児童生徒・保護者に対しての解決に向けてのカウンセリング、教職員からの相談に対して指導助言を行う。

②　不登校対策事業

教育支援センター「くすの実」を設置・運営し、心理的要因で登校できない状態にある

児童生徒に対して、社会的自立を促し、集団生活に対応する力をはぐくむことを目指す。また、「サポート相談員」を配置し、不登校児童生徒の家庭を訪問して、不安の解消を図る。

令和７年度配置実績	サポート相談員
	６人

③　学校問題解決サポート事業

教育委員会で学校問題解決サポート事業体制を整備し、関係機関や専門分野と連携して、学校問題（問題行動・いじめ・不登校・体罰・トラブル等）の未然防止・対策・解決を図る。また、スクールサポーター（警察官ＯＢ）を学校に配置し、気になる児童生徒や配慮を要する児童生徒についての学校の指導・サポート、児童生徒の相談・指導を行う。

④　不登校児童生徒支援事業

ア　ＩＣＴ学習支援員を活用した学習活動支援

家にこもりがちな児童生徒を対象に、生活空間の拡充、学習教材の提供、支援を目的として、支援員を自宅に派遣する。

令和７年度派遣実績	ＩＣＴ学習支援員
	11人

イ　別室対応支援員を活用した学習活動支援

学校において別室登校している児童生徒の学習支援や相談相手をすることで、社会的自立を促す支援を行う。市立小中学校に配置している。

令和７年度配置実績	別室対応支援員
	25人

⑤　特別支援教育推進事業

特別な支援が必要な障がいのある児童生徒の在籍する小中学校に学校生活支援員、特別支援学級支援員を配置し、対象児童生徒の自立のための支援を行うことで、学校生活への適応及び生活上の安全を図る。

また、特別支援学級に在籍する児童生徒及び通級指導教室に通う児童生徒を対象に、児童生徒が用いる学習用端末で包括支援プログラムを利用できるよう整備し、認知機能を高めるトレーニングに取り組むことで、学習面や生活全般の困りごとの軽減を図る。

令和７年度配置実績	学校生活支援員	特別支援学級支援員
	82人	48人

⑥　医療的ケア児支援事業

医療的ケアを必要とする児童生徒を支援するために、小中学校の児童生徒に対し、市と委託契約を結んだ訪問看護ステーションから派遣された看護師又は准看護師が医療的ケアを行う。

⑦　通級指導教室設置事業

通常の学級に在籍するＬＤ・ＡＤＨＤ等の発達障がいのある児童生徒や、言語障がいのある児童に対して、障がいの軽減や克服を目的とした自立活動の指導を行うために通級指

導教室を設置している。

	学　校　名	通級教室数
令和 7 年度設置実績	勧興小学校	3 教室
	北川副小学校	2 教室
	高木瀬小学校	3 教室
	春日小学校	1 教室
	東与賀小学校	1 教室
	鍋島小学校	1 教室
	兵庫小学校	1 教室
	成章中学校	2 教室
	大和中学校	1 教室
	計 9 校	計 15 教室

⑧　発達障がい児相談室（ひまわり相談室）運営事業

発達障がいなどを理由に学校における支援が困難である児童生徒を対象とし、本人及び保護者、学校関係者を交えた相談業務を行うことにより、困難さを軽減し、学校生活への適応を図る。

(4)　公平な教育機会の確保

①　就学援助

経済的な理由により就学が困難だと認められる市内小中学生の保護者に対して、必要な経済的支援を行う。保護者からの申請により審査を行い、援助が必要と認められる場合は、その保護者に対し、学用品費、新入学用品費、修学旅行費、旅行費、給食費、医療費の一部又は全部を補助する。

令和 7 年度就学援助費（令和 8 年度新入学用品費入学前支給分を除く）

令和 7 年度実績	認定者	事業費
小学校	1,561 人	79,857 千円
中学校	982 人	78,845 千円
合　計	2,543 人	158,702 千円

令和 8 年度新入学用品費入学前支給分

令和 7 年度実績	認定者	事業費
小学校	154 人	9,902 千円
中学校	246 人	19,926 千円

合　計	400 人	29,828 千円

② 特別支援教育就学奨励費

特別支援学級に就学する市内小中学生の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、特別支援学級への就学に必要な経費（学用品費、給食費等）を援助する制度。保護者からの申請により審査を行い援助する。

令和 7 年度実績	認定者	事業費
小学校	670 人	17,682 千円
中学校	272 人	11,123 千円
合　計	942 人	28,805 千円

③ 通学費補助事業（小学校・中学校）

富士町、大和町、三瀬村の山間地域に居住し、通学区域の市立の小学校・中学校へ通学する遠距離通学の児童又は生徒の保護者に対して、バス定期券代等を補助する。

令和 7 年度	支給人数	事業費
小学校	52 人	3,218 千円
中学校	29 人	3,012 千円
合　計	81 人	6,230 千円

④ 通学区域制度の弾力化推進事業

本市では、在学中における住所の変更や心身上事由など「相当と認められる理由」がある場合、通学区域の弾力的な取扱い（就学校の変更）を認めている。

さらに、新小学 1 年及び転入、転居により転入学する小学 1～6 年を対象に居住している小学校及び隣接している小学校から 1 校を選べる隣接校の選択制、市内のどこからでも選択できる特認校制を実施するなど、保護者のニーズに対応した学校選択制を導入している。

隣接校選択制・・・市内全小学校

特 認 校 制・・・芙蓉校（小）、松梅校（小）、富士校（小）、北山校（小）、北山東部小学校、三瀬校（小）

(5) 安全な給食の提供と食育の推進

① 学校給食管理運営事業

学校給食を安全かつ円滑に提供するために、市内 28 か所の給食調理場（自校方式、センター方式）の適切な管理を行う。なお、中部学校給食センターについては、選択制弁当方式（ケータリング方式）で給食を提供している。

② 食に関する教育指導の充実

栄養教諭や県費学校栄養職員が配置されていない学校に学校栄養職員を配置し、安定した給食運営を行う。また、学事課に管理栄養士を配置し、市内の栄養教諭、学校栄養職員及び各学校の給食主任と連携を取りながら、食教育の充実を図る。

③　学校給食における安全衛生の充実

「佐賀市学校給食衛生管理基準」を独自に策定し、安全で衛生的な給食の提供に努めている。給食で使用する食品については、「佐賀市学校給食納品規格書」に沿って購入する。さらに食品が納入される際は、複数人で品質、生産地、賞味期限等を確認し、安全な食材を給食で使用している。

④　学校給食食材の地場産品導入による食農教育の推進

学校給食で使用する食材（農産物）について、地元産の食材をより多く導入できるよう生産者・納入業者・ＪＡ・市農業振興課等と協力して取組を進める。給食で地元の食材を使用し、同時に給食指導や給食だよりを通じて啓発を行うことにより、地元の農業や生産者のことを理解し、食農教育の推進を図る。

⑤　学校給食の一部民間委託事業

学校給食調理員の正規職員退職者を補充せずに順次委託化を進めている。学校給食の作業工程のうち調理･洗浄部分を業務委託の対象としており、委託化によって削減された経費で学校栄養職員の配置を行うなど、給食事業の充実を図る。

⑥　学校給食施設整備事業

安全な学校給食を提供するため、国が定める「学校給食衛生管理基準」に基づき、給食実施に必要な施設・設備について、順次衛生面での改善を図る。

(6)　教育環境の充実

①　学校施設の老朽化対策

学校施設の老朽化対策として「佐賀市公共施設等総合管理計画」の長寿命化の実施方針に基づき大規模改修を行う。

②　小・中学校施設改修事業

小・中学校施設について、子どもや教職員及び地域住民など施設利用者が安全で安心かつ快適に利用できるよう、改修、改善を行う。

③　小・中学校児童生徒用図書整備

学校図書館の児童生徒用の図書整備を進め、読書指導の活性化はもとより、学校の教育課程の多様な展開に寄与するとともに、児童生徒が自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応する能力を育て、学習情報センターとしての機能充実を目指す。

また、学校図書館と市立図書館とのネットワークにより、学校間及び市立図書館との図書資源の共同利用を行っている。

④　小・中学校教育用情報機器整備事業

文部科学省の提唱する、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを目指すＧＩＧＡスクール構想に基づき整備した児童・生徒一人一台パソコンの維持管理及び更新を行う。

また、児童・生徒の学力向上及び教職員の授業準備に係る負担を軽減するため、小・中学校に整備した電子黒板及び周辺機器の維持管理及び更新を行う。あわせて、ＩＣＴ支援員を配置し、ＩＣＴ機器の利活用を推進する。

(7)　健やかな体の育成

①　学校医・学校歯科医・学校薬剤師の配置

学校医（内科・眼科・耳鼻科）、学校歯科医、学校薬剤師を各学校へ配置し、健康診断の実施や保健管理に関する相談・指導・助言等を行うことにより、児童生徒の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施と児童生徒の健康に関する自己管理意識を高める。

② 児童生徒・教職員の各種健康診断等の実施

法により実施を義務付けられている、「児童生徒の健康診断」、「教職員の健康診断」、「未就学児（次年度小学校入学予定者）の健康診断」を実施している。

③ フッ化物洗口むし歯予防事業

虫歯の予防、歯の健康に対する意識の高揚を図ることを目的とし、学校で週１回、希望する児童生徒にフッ化物洗口を実施する。

④ 学校環境衛生改善事業

学校環境衛生基準に基づき、学校薬剤師、佐賀大学の協力で学校環境衛生検査（空気検査、プール検査等）を実施している。空気検査（ホルムアルデヒド等）は年１回、プールの水質検査は使用期間中に１か月に１回程度実施している。

⑤ 市中学校体育連盟の運営に係る補助等

市中学校体育連盟の運営に要する経費等について補助金を支出することにより、中体連の活動を活性化させ、生徒の体位・体力の向上及び心身の健全育成を図る。

⑥ 学校体育外部指導者派遣事業

市立中学校の運動部活動の指導に関し、実技に堪能な地域の外部指導者を招くことにより、スポーツ技術の向上と生徒の心身の健全育成を図り、同時に社会性を養う。

(8) 子どもの安全確保のための取組

① 学校安全の推進

児童生徒の学校生活等における安全（生活安全、交通安全、災害安全）を確保するため、各学校で安全教育と安全管理を効果的に進める体制を構築する。学校施設・設備等の点検・管理や設置場所の適正化、家庭・地域・学校の連携・協働、PDCA サイクルに基づく通学路合同点検の実施等により、学校安全の推進に努める。

② さがんメール（学校情報メール）配信事業

あらかじめ、さがんメールに登録した小中学校の児童生徒の保護者等に対し、犯罪・災害等の情報を即時に通知する。あわせて、学校行事の変更など、学校情報の提供も行う。

令和８年度児童生徒数一覧表（小学校）

令和8年5月1日現在

学校名	区分	通常学級							特別支援学級	合計		
	学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	小計				
勧興	児童数	22	30	35	25	49	53	214	33	247	男	136人
	学級数	1	1	1	1	2	2	8	7	15	女	111人
循誘	児童数	24	48	42	45	59	44	262	29	291	男	139人
	学級数	1	2	2	2	2	2	11	6	17	女	152人
日新	児童数	59	63	56	64	52	48	342	54	396	男	212人
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	11	23	女	184人
赤松	児童数	89	88	85	105	87	112	566	46	612	男	315人
	学級数	3	3	3	3	3	4	19	8	27	女	297人
神野	児童数	108	107	104	128	117	119	683	53	736	男	366人
	学級数	4	4	3	4	4	4	23	11	34	女	370人
西与賀	児童数	51	53	49	47	59	45	304	28	332	男	150人
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	5	17	女	182人
嘉瀬	児童数	37	41	35	43	39	50	245	22	267	男	134人
	学級数	2	2	1	2	2	2	11	4	15	女	133人
巨勢	児童数	47	49	58	51	63	38	306	43	349	男	195人
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	10	22	女	154人
兵庫	児童数	91	86	103	118	104	135	637	56	693	男	330人
	学級数	3	3	3	4	3	4	20	10	30	女	363人
高木瀬	児童数	130	130	148	128	119	144	799	66	865	男	437人
	学級数	4	4	5	4	4	5	26	12	38	女	428人
北川副	児童数	110	104	111	114	113	111	663	74	737	男	392人
	学級数	4	3	4	4	4	4	23	12	35	女	345人
本庄	児童数	77	67	68	62	79	78	431	48	479	男	258人
	学級数	3	2	2	2	3	3	15	8	23	女	221人
鍋島	児童数	113	84	106	110	113	133	659	42	701	男	345人
	学級数	4	3	4	4	4	4	23	9	32	女	356人
金立	児童数	40	38	35	33	46	32	224	28	252	男	132人
	学級数	2	2	1	1	2	1	9	5	14	女	120人
久保泉	児童数	15	17	14	23	17	23	109	11	120	男	62人
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	3	9	女	58人
芙蓉	児童数	10	10	12	12	12	13	69	14	83	男	37人
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	4	10	女	46人
新栄	児童数	32	58	62	44	54	71	321	47	368	男	201人
	学級数	1	2	2	2	2	3	12	8	20	女	167人
若楠	児童数	34	46	45	43	47	50	265	31	296	男	142人
	学級数	1	2	2	2	2	2	11	8	19	女	154人
開成	児童数	41	58	51	62	56	82	350	56	406	男	220人
	学級数	2	2	2	2	2	3	13	11	24	女	186人

令和8年5月1日現在

学校名	区分								特別支援学級	合　計
	学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	小　計		
諸富北	児童数	25	22	38	32	29	43	189	22	211
	学級数	1	1	2	1	1	2	8	6	14
諸富南	児童数	31	28	23	33	36	37	188	32	220
	学級数	1	1	1	1	2	2	8	7	15
春　日	児童数	85	88	90	84	74	97	518	44	562
	学級数	3	3	3	3	3	3	18	7	25
川　上	児童数	42	53	53	52	58	56	314	34	348
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	6	18
松　梅	児童数	6	9	6	1	8	7	37	13	50
	学級数	1	1	0	1	0	1	4	3	7
春日北	児童数	89	70	75	75	87	92	488	47	535
	学級数	3	2	3	3	3	3	17	9	26
富　士	児童数	8	3	10	13	8	9	51	7	58
	学級数	1	1	0	1	1	1	5	2	7
北　山	児童数	4	4	4	8	8	6	34	2	36
	学級数	1	0	1	0	1	0	3	2	5
北山東部	児童数	1	7	2	2	3	0	15	0	15
	学級数	1	0	1	0	1	0	3	0	3
三　瀬	児童数	3	6	2	3	5	10	29	2	31
	学級数	1	1	0	1	0	1	4	1	5
中川副	児童数	10	13	11	10	13	8	65	5	70
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	2	8
大詫間	児童数	12	5	14	7	16	9	63	4	67
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	2	8
南川副	児童数	44	33	38	42	31	30	218	15	233
	学級数	2	1	2	2	1	1	9	4	13
西川副	児童数	31	42	41	38	43	40	235	32	267
	学級数	1	2	2	2	2	2	11	5	16
東与賀	児童数	34	53	38	63	54	54	296	32	328
	学級数	1	2	2	2	2	2	11	7	18
思　斉	児童数	52	49	51	45	49	52	298	21	319
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	4	16
合　計	**児童数**	1,607	1,662	1,715	1,765	1,807	1,931	10,487	1,093	11,580人
	学級数	66	64	66	68	70	75	409	219	628学級

男	108人
女	103人
男	122人
女	98人
男	288人
女	274人
男	178人
女	170人
男	22人
女	28人
男	277人
女	258人
男	38人
女	20人
男	17人
女	19人
男	4人
女	11人
男	18人
女	13人
男	38人
女	32人
男	32人
女	35人
男	119人
女	114人
男	132人
女	135人
男	168人
女	160人
男	155人
女	164人
男	5,919人
女	5,661人

11,580人

複式学級　（複式は、運用する実際の組合せで記載）

令和８年度児童生徒数一覧表（中学校）

令和8年5月1日現在

学校名	区分	通常学級				特別支援学級	合計		
	学年	1年生	2年生	3年生	小計				
成章	生徒数	120	122	146	388	41	429	男	217人
	学級数	4	4	4	12	7	19	女	212人
城南	生徒数	180	198	168	546	30	576	男	274人
	学級数	6	5	5	16	6	22	女	302人
昭栄	生徒数	117	166	142	425	53	478	男	248人
	学級数	4	5	4	13	9	22	女	230人
城東	生徒数	212	170	220	602	59	661	男	344人
	学級数	7	5	6	18	11	29	女	317人
城西	生徒数	114	107	117	338	16	354	男	191人
	学級数	4	3	3	10	3	13	女	163人
城北	生徒数	160	143	162	465	33	498	男	263人
	学級数	5	4	5	14	6	20	女	235人
金泉	生徒数	51	44	65	160	14	174	男	95人
	学級数	2	2	2	6	4	10	女	79人
芙蓉	生徒数	10	9	13	32	9	41	男	28人
	学級数	1	1	1	3	3	6	女	13人
鍋島	生徒数	155	172	212	539	58	597	男	328人
	学級数	5	5	6	16	9	25	女	269人
諸富	生徒数	65	56	66	187	26	213	男	113人
	学級数	2	2	2	6	5	11	女	100人
大和	生徒数	177	232	176	585	32	617	男	319人
	学級数	6	6	5	17	5	22	女	298人
松梅	生徒数	8	7	8	23	11	34	男	21人
	学級数	1	1	1	3	3	6	女	13人
富士	生徒数	10	10	13	33	3	36	男	23人
	学級数	1	1	1	3	1	4	女	13人
北山	生徒数	13	9	10	32	0	32	男	18人
	学級数	1	1	1	3	0	3	女	14人
三瀬	生徒数	8	9	10	27	2	29	男	13人
	学級数	1	1	1	3	2	5	女	16人
川副	生徒数	110	100	69	279	22	301	男	158人
	学級数	4	3	2	9	5	14	女	143人
東与賀	生徒数	64	52	65	181	22	203	男	103人
	学級数	2	2	2	6	5	11	女	100人
思斉	生徒数	68	50	67	185	14	199	男	108人
	学級数	2	2	2	6	3	9	女	91人
合計	**生徒数**	**1642**	**1656**	**1729**	**5027**	**445**	**5,472人**	男	2,864人
	学級数	**58**	**53**	**53**	**164**	**87**	**251学級**	女	2,608人
									5,472人

2年生 選択対象 ⇒ 少人数学級選択

実学級数＝表示+1

3年生 選択対象 ⇒ A選択 少規模学級選択 / B選択 TT選択

実学級数＝表示+1

小・中学校　総合計	17,052人	男	8,783人
	879学級	女	8,269人

【資料】小中学校教職員数一覧

令和8年5月1日現在

校名	県費職員数													市費職員数										総合計	
	校長	副校長	教頭	主幹教諭	指導教諭	教諭	養護教諭	養護助教諭	栄養教諭	講師	事務職員	栄養士	計	事務職員		栄養士		調理員		事務員		図書館職員		計		職員	会計年度
														職員	会計年度	職員	会計年度	職員	会計年度	職員	会計年度	職員	会計年度	職員	会計年度		
勧興	1		1			19	1			3	1		26		1.0		1.0			1.0			1.0	1.0	3.0	27.0	3.0
循誘	1		1		1	20	1			5	1		30		1.0		1.0				1.0		1.0		4.0	30.0	4.0
日新	1		1			26	1		1	2	1		33		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	34.0	2.0
赤松	1		1	1	1	29	1	1	1	6	2		44		1.0						1.0		1.0		3.0	44.0	3.0
神野	1		2	1	1	38	1	1	1	6	2		54		1.0						1.0		1.0		3.0	54.0	3.0
西与賀	1		1		1	19	1	1		3	1		28		1.0		1.0				1.0		1.0		4.0	28.0	4.0
嘉瀬	1		1		1	16	1			1	1		22		1.0		1.0	3.0			1.0		1.0	3.0	4.0	25.0	4.0
巨勢	1		1		1	23	1			3	1		31		1.0		1.0				1.0		1.0		4.0	31.0	4.0
兵庫	1		2	1		36	2	1	1	4	2		50		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	51.0	2.0
高木瀬	1		2	1	1	45	2		1	5	1		59		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	60.0	2.0
北川副	1		1	1		39	1		1	4	2		50		1.0						1.0		1.0		3.0	50.0	3.0
本庄	1		1		1	25	1		1	3	2		35		1.0						1.0		1.0		3.0	35.0	3.0
鍋島	1		1	1	2	36	1	1	1	5	2		51		1.0						1.0		1.0		3.0	51.0	3.0
金立	1		1			17	1			3	1		24		1.0		1.0	2.0	1.0		1.0		1.0	2.0	5.0	26.0	5.0
久保泉	1		1		1	9	1				1		14		1.0		1.0				1.0		1.0		4.0	14.0	4.0
芙蓉		1			1	10				1	1		14		**0.5**		1.0				**0.5**		**0.5**		2.5	14.0	2.5
新栄	1		1		1	23	1		1	3	1		32		1.0						1.0		1.0		3.0	32.0	3.0
若楠	1		1		2	20	1			1	1		27		1.0		1.0				1.0		1.0		4.0	27.0	4.0
開成	1		1	1		26	1			3	2		35		1.0		1.0				1.0		1.0		4.0	35.0	4.0
諸富北	1		1		1	16	1			3	1		24		1.0						1.0		1.0		3.0	24.0	3.0
諸富南	1		1			17	1	1		2	1		24		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	25.0	2.0
春日	1		1	1	1	28	1	1	1	2	2		39		1.0						1.0		1.0		3.0	39.0	3.0
川上	1		1		1	22	1			1	1		28		1.0		1.0				1.0		1.0		4.0	28.0	4.0
松梅		1				7	1	1			1		11		**0.5**						**0.5**		**0.5**		1.5	11.0	1.5
春日北	1		1	1	1	30	1	1	1	4	2		43		1.0						1.0		1.0		3.0	43.0	3.0
富士	1		1			8		1		1	2		14		**0.5**						1.0		**0.5**		2.0	14.0	2.0
北山		1			1	5				2	1		10		**0.5**						**0.5**		**0.5**		1.5	10.0	1.5
北山東部	1		1		1	2	1			1	1		8		**0.5**						1.0		**0.5**		2.0	8.0	2.0
三瀬	1		1			6	1			1	1		11		**0.5**						**0.5**		**0.5**		1.5	11.0	1.5
中川副	1		1		1	7	1		1	3	1		16		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	17.0	2.0
大詫間	1		1		1	9	1	1		2	2		18		**0.5**						1.0		**0.5**		2.0	18.0	2.0
南川副	1		1		1	14	1			1	1		20		1.0						1.0		1.0		3.0	20.0	3.0
西川副	1		1		1	18	1			3	1		26		1.0						1.0		1.0		3.0	26.0	3.0
東与賀	1		1		1	21	1			4	1		30		1.0		1.0				1.0		1.0		4.0	30.0	4.0
思斉	1		1		1	16	1	1		4	1	1	27		1.0					2.0			1.0	2.0	2.0	29.0	2.0
小学校計	32	3	35	9	27	702	34	12	12	95	46	1	1008		31.5		12.0	5.0	1.0	8.0	26.0		31.5	13.0	102.0	1,021.0	102.0

令和8年5月1日現在

校名	県費職員数													市費職員数												総合計	
	校長	副校長	教頭	主幹教諭	指導教諭	教諭	養護教諭	養護助教諭	栄養教諭	講師	事務職員	栄養士	計	事務職員		栄養士		調理員		事務員		図書館職員		計		職員	会計年度
														職員	会計年度	職員	会計年度	職員	会計年度	職員	会計年度	職員	会計年度	職員	会計年度		
成章	1		1	1	1	30	1			3	2		40		1.0						1.0		1.0		3.0	40.0	3.0
城南	1		1	1	1	38	1			4	2		49		1.0						1.0		1.0		3.0	49.0	3.0
昭栄	1		1	1	2	36	1			4	2		48		1.0						1.0		1.0		3.0	48.0	3.0
城東	1	1	1	1	3	41	2	1		1	2		54		1.0						1.0		1.0		3.0	54.0	3.0
城西	1		1		1	24	1			3	1		32		1.0						1.0		1.0		3.0	32.0	3.0
城北	1		1	1	2	29	1			1	2		38		1.0						1.0		1.0		3.0	38.0	3.0
金泉	1		1		1	17	1			2	1		24		1.0						1.0		1.0		3.0	24.0	3.0
芙蓉	1		1			6	1			5			14		**0.5**						**0.5**		**0.5**		1.5	14.0	1.5
鍋島	1	1	1	2	1	40	1			2	2		51		1.0						1.0		1.0		3.0	51.0	3.0
諸富	1		1		1	17	1		1	2	1		25		1.0						1.0		1.0		3.0	25.0	3.0
大和	1		2	1	3	36	1			7	2		53		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	54.0	2.0
松梅	1		1			11	1				1		15		**0.5**						**0.5**		**0.5**		1.5	15.0	1.5
富士	1		1		1	7	1		1		1		13		**0.5**						1.0		**0.5**		2.0	13.0	2.0
北山	1		1		1	5		1					9		**0.5**						**0.5**		**0.5**		1.5	9.0	1.5
三瀬	1		1			6	1			2	1		12		**0.5**						**0.5**		**0.5**		1.5	12.0	1.5
川副	1		1		1	19	1			2	3		28		1.0						1.0		1.0		3.0	28.0	3.0
東与賀	1		1		1	19	1			2	2		27		1.0						1.0		1.0		3.0	27.0	3.0
思斉	1		1		1	16	1	1		1	1		23		1.0					2.0			1.0	2.0	2.0	25.0	2.0
中学校計	18	2	19	8	21	397	18	3	2	41	26		**555**		15.5					3.0	14.0		15.5	**3.0**	45.0	**558.0**	45.0
																								計 48.0		計 603.0	
小中学校総合計	50	5	54	17	48	1,099	52	15	14	136	72	1	**1,563**		47.0		12.0	5.0	1.0	11.0	40.0		47.0	**16.0**	147.0	**1,579.0**	147.0
																								計 163.0		計 1,726.0	

［注］【県費】　小中一貫校の芙蓉校長、松梅校長、北山校長は小中兼務

［注］【市費】　**0.5**・・・事務職員・図書兼務

⇒小規模校では、学校図書館職員が学校事務職員を兼務

［注］【市費】　**0.5**・・・一貫校の小中兼務

⇒芙蓉校、北山校では、事務職員・事務員・図書館職員は小中兼務

⇒松梅校、三瀬校では、事務員は小中兼務

【資料】小中学校建物等一覧

令和８年５月１日現在

学校名	人数	校地面積（㎡）					校舎面積（㎡）				保有教室数	
		建物敷地面積	運動場敷地面積	その他敷地面積	総面積	児童１人あたり面積	鉄筋・鉄骨	木造	総面積	児童１人あたり面積	普通教室	特別教室
勧興小	247	11,542㎡	9,065㎡		20,607㎡	83.43㎡/人	5,614㎡	78㎡	5,692㎡	23.04㎡/人	15	20
循誘小	291	16,679㎡	13,839㎡		30,518㎡	104.87㎡/人	5,601㎡	69㎡	5,670㎡	19.48㎡/人	17	13
日新小	396	16,292㎡	8,498㎡		24,790㎡	62.60㎡/人	5,627㎡	78㎡	5,705㎡	14.41㎡/人	23	8
赤松小	612	16,069㎡	13,901㎡	202㎡	30,172㎡	49.30㎡/人	5,970㎡	76㎡	6,046㎡	9.88㎡/人	27	13
神野小	736	11,468㎡	9,150㎡	198㎡	20,816㎡	28.28㎡/人	5,585㎡	80㎡	5,665㎡	7.70㎡/人	34	10
西与賀小	332	9,608㎡	12,980㎡		22,588㎡	68.04㎡/人	4,608㎡	98㎡	4,706㎡	14.17㎡/人	17	7
嘉瀬小	267	11,518㎡	9,739㎡		21,257㎡	79.61㎡/人	4,172㎡	129㎡	4,301㎡	16.11㎡/人	15	8
巨勢小	349	9,347㎡	9,015㎡		18,362㎡	52.61㎡/人	3,431㎡	199㎡	3,630㎡	10.40㎡/人	22	7
兵庫小	693	11,946㎡	18,829㎡	436㎡	31,211㎡	45.04㎡/人	5,917㎡	397㎡	6,314㎡	9.11㎡/人	30	7
高木瀬小	865	12,869㎡	11,817㎡	174㎡	24,860㎡	28.74㎡/人	5,360㎡	80㎡	5,440㎡	6.29㎡/人	38	10
北川副小	737	9,925㎡	14,459㎡	202㎡	24,586㎡	33.36㎡/人	5,154㎡	217㎡	5,371㎡	7.29㎡/人	35	11
本庄小	479	8,981㎡	10,485㎡	262㎡	19,728㎡	41.19㎡/人	5,649㎡	80㎡	5,729㎡	11.96㎡/人	23	9
鍋島小	701	15,043㎡	13,237㎡	536㎡	28,816㎡	41.11㎡/人	6,962㎡	129㎡	7,091㎡	10.12㎡/人	32	11
金立小	252	10,565㎡	11,926㎡		22,491㎡	89.25㎡/人	3,383㎡	78㎡	3,461㎡	13.73㎡/人	14	8
久保泉小	120	11,401㎡	9,130㎡		20,531㎡	171.09㎡/人	3,298㎡	－	3,298㎡	27.48㎡/人	9	8
芙蓉小	83	14,619㎡	14,473㎡		29,092㎡	350.51㎡/人	1,536㎡	78㎡	1,614㎡	19.45㎡/人	10	0
新栄小	368	8,836㎡	14,097㎡	191㎡	23,124㎡	62.84㎡/人	3,779㎡	1,028㎡	4,807㎡	13.06㎡/人	20	6
若楠小	296	7,948㎡	13,318㎡		21,266㎡	71.84㎡/人	4,944㎡	78㎡	5,022㎡	16.97㎡/人	19	8
開成小	406	18,989㎡	12,490㎡	104㎡	31,583㎡	77.79㎡/人	5,545㎡	136㎡	5,681㎡	13.99㎡/人	24	9
諸富北小	211	9,081㎡	11,711㎡		20,792㎡	98.54㎡/人	4,225㎡	－	4,225㎡	20.02㎡/人	14	11
諸富南小	220	12,284㎡	9,531㎡		21,815㎡	99.16㎡/人	4,672㎡	60㎡	4,732㎡	21.51㎡/人	15	8
春日小	562	12,303㎡	8,364㎡		20,667㎡	36.77㎡/人	6,040㎡	65㎡	6,105㎡	10.86㎡/人	25	10
川上小	348	11,078㎡	9,339㎡	152㎡	20,569㎡	59.11㎡/人	4,456㎡	93㎡	4,549㎡	13.07㎡/人	18	8
松梅小	50	5,576㎡	2,820㎡	18㎡	8,414㎡	168.28㎡/人	1,849㎡	31㎡	1,880㎡	37.60㎡/人	7	7
春日北小	535	15,144㎡	13,750㎡	152㎡	29,046㎡	54.29㎡/人	5,044㎡	209㎡	5,253㎡	9.82㎡/人	26	8
富士小	58	12,135㎡	9,200㎡	45㎡	21,380㎡	368.62㎡/人	－	2,281㎡	2,281㎡	39.33㎡/人	7	8
北山小	36	11,380㎡	8,148㎡		19,528㎡	542.44㎡/人	715㎡	609㎡	1,324㎡	36.78㎡/人	5	4
北山東部小	15	6,607㎡	10,984㎡	663㎡	18,254㎡	1,216.93㎡/人	－	1,241㎡	1,241㎡	82.73㎡/人	3	6
三瀬小	31	7,351㎡	4,634㎡	482㎡	12,467㎡	402.16㎡/人	622㎡	2,339㎡	2,568㎡	82.84㎡/人	5	8
中川副小	70	8,198㎡	12,240㎡		20,438㎡	291.97㎡/人	4,005㎡	－	4,005㎡	57.21㎡/人	8	12
大詫間小	67	6,397㎡	9,052㎡		15,449㎡	230.58㎡/人	2,303㎡	－	2,303㎡	34.37㎡/人	8	7
南川副小	233	12,866㎡	10,020㎡		22,886㎡	98.22㎡/人	4,613㎡	－	4,613㎡	19.80㎡/人	13	11
西川副小	267	10,775㎡	13,741㎡		24,516㎡	91.82㎡/人	4,273㎡	－	4,273㎡	16.00㎡/人	16	8
東与賀小	328	10,185㎡	14,394㎡		24,579㎡	74.94㎡/人	4,701㎡	－	4,701㎡	14.33㎡/人	18	10
思斉小	319	12,285㎡	9,263㎡	805㎡	22,353㎡	70.07㎡/人	5,436㎡	－	5,436㎡	17.04㎡/人	16	16
計	11,580	397,290㎡	387,639㎡		789,551㎡	68.18㎡/人	145,089㎡	10,036㎡	154,732㎡	13.36㎡/人	628	315

令和８年５月１日現在

学校名	屋内運動場					給食室			プール		
	構造	面積	クラブハウス	建築年度	児童１人あたり面積	構造	面積	建築年度	構造	面積	建築年度
勧興小	R	1,049㎡	200㎡	H5	4.25㎡/人	R	179㎡	53	RC	525㎡	33
循誘小	S	1,200㎡	－	H23	4.12㎡/人	S	234㎡	R2	FRP	450㎡	H5
日新小	R	1,230㎡	220㎡	H9	3.11㎡/人	R	174㎡	H2	RC	485㎡	41
赤松小	R	1,387㎡	－	52	2.27㎡/人	R	181㎡	H3	ｽﾃﾝﾚｽ	450㎡	H5
神野小	S	1,200㎡	－	H22	1.63㎡/人	R	180㎡	H5	ｽﾃﾝﾚｽ	400㎡	H20
西与賀小	S	820㎡	－	56	2.47㎡/人	S	204㎡	H28	RC	401㎡	58
嘉瀬小	R	999㎡	200㎡	62	3.74㎡/人	S	248㎡	R2	RC	375㎡	40
巨勢小	S	943㎡	148㎡	H25	2.70㎡/人	S	204㎡	H29	RC	325㎡	37
兵庫小	S	1,200㎡	－	H21	1.73㎡/人	S	204㎡	H18	ｽﾃﾝﾚｽ	450㎡	H7
高木瀬小	S	1,200㎡	－	H23	1.39㎡/人	S	204㎡	H10	RC	450㎡	57
北川副小	S	1,064㎡	－	56	1.44㎡/人	S	204㎡	H12	ｽﾃﾝﾚｽ	475㎡	61
本庄小	R	1,049㎡	200㎡	H3	2.19㎡/人	R	179㎡	H4	ｽﾃﾝﾚｽ	450㎡	H3
鍋島小	S	1,200㎡	－	H20	1.71㎡/人	S	224㎡	H28	RC	405㎡	40
金立小	S	944㎡	152㎡	H24	3.75㎡/人	S	204㎡	H29	RC	399㎡	39
久保泉小	S	1,200㎡	－	H20	10.00㎡/人	R	135㎡	H8	RC	375㎡	32
芙蓉小	R	589㎡	－	H12	7.10㎡/人	R	129㎡	H6	RC	425㎡	大33小58
新栄小	S	945㎡	148㎡	H26	2.57㎡/人	S	204㎡	H29	RC	450㎡	47
若楠小	S	990㎡	－	53	3.34㎡/人	S	204㎡	R1	RC	450㎡	53
開成小	R	1,049㎡	200㎡	H1	2.58㎡/人	R	180㎡	H1	FRP	450㎡	H1
諸富北小	R	920㎡	358㎡	H3	4.36㎡/人	－	－	－	RC	325㎡	39
諸富南小	R	991㎡	238㎡	H16	4.50㎡/人	－	－	－	RC	325㎡	45
春日小	R	972㎡	108㎡	57	1.73㎡/人	S	204㎡	H30	RC	410㎡	41
川上小	R	942㎡	140㎡	H4	2.71㎡/人	R	228㎡	H4	RC	422㎡	42
松梅小	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
春日北小	R	929㎡	178㎡	H7	1.74㎡/人	R	228㎡	H7	ｽﾃﾝﾚｽ	455㎡	H7
富士小	W	892㎡	103㎡	H17	15.38㎡/人	－	－	－	ｽﾃﾝﾚｽ	325㎡	H17
北山小	ＲＳ	569㎡	－	H19	15.81㎡/人	－	－	－	ｽﾃﾝﾚｽ	321㎡	H20
北山東部小	R	463㎡	－	57	30.87㎡/人	－	－	－	RC	265㎡	H14
三瀬小	S	660㎡	－	H16	21.29㎡/人	－	－	－	－	－	－
中川副小	R	696㎡	－	57	9.94㎡/人	－	－	－	ｽﾃﾝﾚｽ	475㎡	H10
大詫間小	R	800㎡	201㎡	H1	11.94㎡/人	－	－	－	RC	373㎡	40
南川副小	R	941㎡	263㎡	62	4.04㎡/人	－	－	－	RC	750㎡	40
西川副小	S	944㎡	152㎡	H23	3.54㎡/人	－	－	－	RC	525㎡	39
東与賀小	S	1,193㎡	－	45	3.64㎡/人	S	304㎡	H8	RC	1,300㎡	41
思斉小	R	947㎡	359㎡	63	2.97㎡/人	S	333㎡	63	RC	1,300㎡	48
計	－	33,117㎡	3,568㎡	－	2.86㎡/人	－	4,972㎡	－	－	15,761㎡	－

令和８年５月１日現在

学校名	人数	校地面積（㎡）					校舎面積（㎡）				保有教室数	
		建物敷地面積	運動場敷地面積	その他敷地面積	総面積	児童１人あたり面積	鉄筋・鉄骨	木造	総面積	児童１人あたり面積	普通教室	特別教室
成章中	429	13,563㎡	20,378㎡		33,941㎡	79.12㎡/人	5,402㎡	61㎡	5,463㎡	12.73㎡/人	19	18
城南中	576	17,405㎡	17,714㎡		35,119㎡	60.97㎡/人	7,488㎡	58㎡	7,546㎡	13.10㎡/人	23	19
昭栄中	478	17,034㎡	19,285㎡		36,319㎡	75.98㎡/人	8,263㎡	58㎡	8,321㎡	17.41㎡/人	22	19
城東中	661	14,728㎡	13,226㎡		27,954㎡	42.29㎡/人	7,054㎡	107㎡	7,161㎡	10.83㎡/人	29	17
城西中	354	12,889㎡	15,002㎡		27,891㎡	78.79㎡/人	6,168㎡	58㎡	6,226㎡	17.59㎡/人	15	20
城北中	498	16,271㎡	22,618㎡		38,889㎡	78.09㎡/人	5,598㎡	111㎡	5,709㎡	11.46㎡/人	21	13
金泉中	174	11,475㎡	12,049㎡		23,524㎡	135.20㎡/人	3,656㎡	－	3,656㎡	21.01㎡/人	10	11
芙蓉中	41	－	－		0㎡	0.00㎡/人	1,886㎡	112㎡	1,998㎡	48.73㎡/人	6	8
鍋島中	597	13,559㎡	18,041㎡		31,600㎡	52.93㎡/人	5,876㎡	107㎡	5,983㎡	10.02㎡/人	25	15
諸富中	213	12,351㎡	15,395㎡		27,746㎡	130.26㎡/人	4,483㎡	21㎡	4,504㎡	21.15㎡/人	12	17
大和中	617	19,700㎡	23,894㎡		43,594㎡	70.65㎡/人	7,709㎡	－	7,709㎡	12.49㎡/人	23	23
松梅中	34	6,394㎡	9,421㎡		15,815㎡	465.15㎡/人	2,202㎡	20㎡	2,222㎡	65.35㎡/人	6	10
富士中	36	9,034㎡	6,811㎡	1,434㎡	17,279㎡	479.97㎡/人	539㎡	1,859㎡	2,398㎡	66.61㎡/人	4	8
北山中	32	－	－		0㎡	0.00㎡/人	1,511㎡	650㎡	2,161㎡	67.53㎡/人	3	9
三瀬中	29	6,625㎡	2,769㎡		9,394㎡	323.93㎡/人	1,829㎡	－	1,829㎡	63.07㎡/人	5	6
川副中	301	15,781㎡	16,314㎡		32,095㎡	106.63㎡/人	7,660㎡	－	7,660㎡	25.45㎡/人	14	27
東与賀中	203	11,198㎡	17,794㎡		28,992㎡	142.82㎡/人	4,238㎡	9㎡	4,247㎡	20.92㎡/人	11	13
思斉中	199	16,741㎡	10,925㎡	488㎡	28,154㎡	141.48㎡/人	4,874㎡	－	4,874㎡	24.49㎡/人	9	17
計	5,472	214,748㎡	241,636㎡		458,306㎡	83.75㎡/人	86,436㎡	3,231㎡	89,667㎡	16.39㎡/人	257	270

令和８年５月１日現在

学校名	屋内運動場					給食室			プール		
	構造	面積	クラブハウス	建築年度	児童１人あたり面積	構造	面積	建築年度	構造	面積	建築年度
成章中	R	1,342㎡	－	48	3.13㎡/人	－	－	－	ｽﾃﾝﾚｽ	400㎡	H24
城南中	R	1,537㎡	474㎡	H4	2.67㎡/人	－	－	－	FRP	400㎡	H4
昭栄中	R	1,436㎡	－	57	3.00㎡/人	－	－	－	RC	375㎡	38
城東中	R	1,277㎡	348㎡	62	1.93㎡/人	－	－	－	FRP	400㎡	H9
城西中	R	1,277㎡	348㎡	63	3.61㎡/人	－	－	－	ｽﾃﾝﾚｽ	400㎡	63
城北中	R	1,315㎡	310㎡	H7	2.64㎡/人	－	－	－	RC	400㎡	44
金泉中	S	1,157㎡	180㎡	H17	6.65㎡/人	－	－	－	ｽﾃﾝﾚｽ	400㎡	H10
芙蓉中	R	749㎡	－	H12	18.27㎡/人	－	－	－	－	－	－
鍋島中	R	1,375㎡	269㎡	58	2.30㎡/人	－	－	－	FRP	400㎡	58
諸富中	S	1,151㎡	－	R4	5.40㎡/人	－	－	－	RC	425㎡	52
大和中	R	2,315㎡	199㎡	62	3.75㎡/人	－	－	－	RC	1,000㎡	46
松梅中	R	897㎡	－	H2	26.38㎡/人	－	－	－	RC	465㎡	49
富士中	S	961㎡	－	41	26.69㎡/人	－	－	－	ｽﾃﾝﾚｽ	250㎡	H29
北山中	ＲＳ	725㎡	－	H19	22.66㎡/人	－	－	－	－	－	－
三瀬中	S	455㎡	－	H16	15.69㎡/人	－	－	－	－	－	－
川副中	R	2,595㎡	474㎡	H5	8.62㎡/人	－	－	－	－	－	－
東与賀中	R	1,197㎡	381㎡	62	5.90㎡/人	－	－	－	－	－	－
思斉中	R	1,364㎡	540㎡	H9	6.85㎡/人	－	－	－	－	－	－
計	－	23,125㎡	3,523㎡	－	4.23㎡/人	－	－	－	－	5,315㎡	－

［資料］令和７年度就学援助費・特別支援教育就学奨励費補助給付状況

種別＼内訳		小学校			中学校			合計（円）
		児童総数（人）	給付児童数（人）	給付額（円）	生徒総数（人）	給付生徒数（人）	給付額（円）	
就学援助費	修学旅行費	11,808	1,561	4,776,100	5,519	982	16,597,712	21,373,812
	旅行費（市費単独事業）			2,472,577			2,355,642	4,828,219
	学用品費等			22,277,820			25,070,494	47,348,314
	校外活動費（宿泊を伴うもの）			859,948			36,234	896,182
	新入学用品費			2,282,400			1,197,000	3,479,400
	給食費			46,669,243			33,349,542	80,018,785
	医療費			518,909			183,573	702,482
	通学費						54,683	54,683
	新入学用品費（入学前支給）		154	9,902,200		246	19,926,000	29,828,200
	計			89,759,197			98,770,880	188,530,077
特別支援教育就学奨励費			670	17,682,381		272	11,122,777	28,805,158
合計				107,441,578			109,893,657	217,335,235

４　家庭・地域・企業等の教育力の向上

(1)　「子どもへのまなざし運動」の推進

①　「子どもへのまなざし運動」の概要

子どもが健やかに成長していく過程では、多くの他者とのかかわり、とりわけ大人とのかかわりが重要である。そこで佐賀市では、子どもが社会において保障されるべき様々な権利の尊重に努め、すべての大人が子どもの育成に関心を持ち、かつ、主体的にかかわる社会『子どもへのまなざし“100%”のまち』の実現を目指し、市民総参加で子どもを育む市民運動を展開する。平成 19 年度には、この運動の後ろ盾となる「佐賀市未来を託す子どもを育むための大人の役割に関する条例」を制定（平成 20 年 4 月 1 日施行）、平成 20 年度から本格的な推進を図っている。

ア　運動の理念

ⅰ　大人は、子どもを育むことに対する役割と責任を自覚する。

ⅱ　大人は、子どもの声に耳を傾け子どもの権利を尊重する。

ⅲ　大人は、子どもの手本となるよう大人自身が模範を示す。

イ　大人の役割と行動指針

ⅰ　子どもを育む 4 つの場

家　庭・・・子どもを一人前の大人に育てる。

地　域・・・子どもに地域の一員としての自覚を促す。

企業等・・・仕事と家庭生活との両立を支援し、子どもの勤労感・職業観を育む。

学校等・・・子どもに生きる力を身に付けさせるとともに、学ぶ喜びを育む。

ⅱ　子どもを育む 4 つの視点

子どもを育む上で大切にしたい「命」・「自立」・「他者とのかかわり」・「子どもを取り巻く環境」という 4 つの視点から、大人の行動指針を提案する。

②　「子どもへのまなざし運動」の具体的な取組

ア　市民の認知度や関心を高めるための取組

ⅰ　子どもへのまなざし運動の啓発・PR 活動

テーマソング、のぼり旗・ベスト・帽子などの啓発グッズ、まなざし君、シンボルマーク等を活用した PR を実施し、認知度の向上に繋げる。

ⅱ　子どもへのまなざし運動の内容を伝える取組

出前講座等を実施する。コミュニティサイト、ホームページ等で地域の取組やイベント情報等を発信する。

イ　市民が運動に共感し、実践に繋げるための取組

ⅰ　家庭の役割を支援する取組

家庭教育講座の開催

ⅱ　地域の活動を促す取組

推進大会を開催し、運動実践事例発表と地域や各種団体の優良事例を表彰する「まなざしキラリ賞」の表彰を行う。

ⅲ　企業等への実践活動を促す取組

運動参加企業の募集や佐賀市役所が運動の参加企業としてのモデル的な取組の周知案内を行う。

ⅳ　学校と地域等、連携強化を図る取組

地域教育コーディネーターの配置など地域学校協働活動を推進する。

③　家庭教育講座講師派遣事業

子どもを取り巻く環境は年々複雑化している現状であるため、家庭教育講座を開催する団体等に講師を派遣し、全市的に家庭教育力の向上を図ることを目的として実施する。

ア　新入学説明会等を活用した家庭教育講座

市内小中学校における新入学説明会等の保護者が多数参加する機会を活用し、家庭教育講座の実施を支援する。

イ　その他の家庭教育講座

保育園、幼稚園、小・中学校 PTA、子育てサークル等が開催する家庭教育講座に講師を派遣する。

④　地域学校協働活動推進事業

学校・家庭・地域が連携協力し、地域住民等による学校の環境整備や登下校の見守り、授業支援等、教育支援活動を行うことで、子どもたちの地域への愛着心を育んだり、コミュニケーション力や学力の向上を図るとともに、子どもたちが地域全体で見守られ、安心して健やかに育まれる環境づくりを推進する。

令和 7 年度 本部設置校	13 校（北川副小学校、若楠小学校、小中一貫校松梅校（小学部、中学部）、小中一貫校富士校（小学部、中学部）、大詫間小学校、本庄小学校、諸富北小学校、諸富南小学校、諸富中学校、高木瀬小学校、新栄小学校）

⑤　放課後子ども教室推進事業

放課後や週末等において、子どもたちの安全・安心な活動場所を確保し、地域の人材の協力を得て、学習やスポーツ・文化芸術活動、地域との交流活動など様々な活動を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

令和 7 年度 事業実施校区	5 校区 （日新、嘉瀬、新栄、若楠、松梅）

⑥　体験型学習の実施

子どもたちが公民館等で様々な体験型学習やボランティア活動を通じて、子ども同士や地域住民との交流を促進し、子どもの自立心や協調性を育み、地域住民の地域で子どもを育てようという機運の醸成を図る。

令和 7 年度 事業実施状況	通学合宿： 5 館（日新、嘉瀬、巨勢、若楠、中川副） 防災キャンプ：3 館（神野、三瀬、東与賀） 夏休み子ども教室： 28 館 観光ボランティアガイド養成講座：2 館（循誘、東与賀） その他、ものづくり教室や料理教室、ふるさと学習等の体験学習を実施

⑦　社会教育助成補助事業

社会教育の振興を図るため、社会教育に関する事業を実施する社会教育団体及び青少年健全育成に関する事業を実施する社会教育団体に対して補助金を交付し、その活動を支援する。

⑧　山村留学助成事業

佐賀市立北山東部小学校において山村留学生を受け入れる。長期留学では1年間、短期留学では夏休み中に2泊3日で地域の方の家にホームステイする。留学生を受け入れることで、地域全体で子どもたちを見守り、育てていく意識の醸成を図る。また、少人数の児童間における人間関係に変化を期待する。事業主体である「やまばと山村留学実行委員会」に対し、補助金を交付する。

(2)　子ども・若者の健全育成

①　子ども・若者支援事業

ア　市内全域にまなざし育成委員（118名）を配置し、月4回、午前、午後又は夜間に26校区・地区ごとの街頭見守り活動を実施することで、問題行動の早期発見及び早期指導を行い、青少年の非行を未然に防止する。また、青少年センターに子ども・若者支援専門官を配置し、まなざし育成委員の指導や合同街頭見守り活動、地域環境点検活動、インターネット見守り活動等を実施し、青少年の非行防止及び健全育成を図る。

イ　友人関係や親子関係などの青少年の悩みを抱える子どもや家族に対して、問題解決の糸口となるよう、電話相談、面接相談及びメール相談により助言や関係機関等との調整を行う。

令和7年度	電話相談	面接相談	メール相談
相談対応件数	10件	0件	1件

ウ　佐賀市内のニート、ひきこもり、不登校等の困りごとを抱える子ども・若者を対象とした相談を受け付け、相談支援、訪問支援を行う。また、学校復帰・社会復帰につながることを目的にした講座や教室を開催する。

令和7年度相談対応件数	2,570件
支援対象者人数	362人

②　青少年センター管理運営事業

昭和47年7月1日に青年の家として設立後、平成15年4月1日に青少年センターと名称変更した。また、平成28年10月1日に佐賀バルーンミュージアム3階に移転した。青少年に学習と憩いの場を与え、健やかな成長の支援を行い、また、困難を有する青少年等の支援を行うための施設である青少年センターの管理運営事業を実施する。

【佐賀市青少年センター利用者の推移】　（実人数）

	小中学生	高校生	大学生	一般成人	合　計	1日平均
令和3年度	19,963人	32,658人	12,996人	14,517人	80,134人	224人
令和4年度	24,236人	38,491人	8,854人	15,229人	86,810人	243人
令和5年度	22,911人	40,645人	7,001人	16,173人	86,730人	241人
令和6年度	24,622人	44,061人	6,742人	16,223人	91,648人	257人
令和7年度	21,406人	46,405人	6,276人	15,022人	89,109人	248人

③　佐賀市二十歳のつどい

佐賀市二十歳のつどいは、その年度に二十歳を迎える方を対象に、毎年１月、成人の日の前日の日曜日に開催する。

大人としての自覚を持ち、自ら生き抜こうとする二十歳を迎える方を祝福し、これからの社会を担っていく若者を激励するために開催する。

【令和７年度佐賀市二十歳のつどい】

会　　場	開　催　日　時	出席者数
ＳＡＧＡアリーナ	令和８年 １月 11 日(日) 14：00～	1,766 人

④　子どもの発明力・創造力共育事業

佐賀県発明協会と市教育委員会との共催で、平成元年度に佐賀市少年少女発明クラブを発足。佐賀市からの補助金と佐賀商工会議所等の企業・事業所からの協力金でクラブを運営している。クラブ員は市内の小学 4 年生から中学生までの 35 名で、クラブ員個々がアイデアを出しながら、年間を通してオリジナルの作品を作り上げ発表する。専任指導員 1 名と指導員数名にて指導を行い、勧興小学校において土曜日の午前中、年間 30 回程度の活動を行っている。

５　自ら学ぶ生涯学習の推進

(1)　生涯学習施設の整備・運営（その他の生涯学習施設については、「公民館・農村環境改善センター・コミュニティセンター」ページを参照）

①　施設の設置状況

種　　類	該　当　施　設	運　営　形　態
社会教育施設 （2 施設）	金立教育キャンプ場	直営
	星空学習館	指定管理者 （佐賀天文協会）

②　施設の管理運営

ア　金立教育キャンプ場

市民、特に、小中学生を対象にキャンプ施設を提供することで、社会性、創造性、自然を愛する心を養うことにより青少年の健全育成を図る。

イ　星空学習館

星空学習館の管理運営を行い、天体・科学に関する学習を推進することで、生涯学習の振興を図る。

６　佐賀市立図書館

(1)　図書館運営事業

佐賀市立図書館本館を拠点に、7つの分館、6つの分室を設置し、遠隔地には自動車図書館を運行することで、市内全域の図書館サービスを展開している。

また、地域の情報拠点、生涯学習の拠点、市民の交流の場としての機能をさらに充実させ、市民の教養、文化の向上を図るため、利用者ニーズにあった多様な資料収集に努めている。

(2)　図書館施設管理事業

建築物・設備の適切な維持管理を行い、市民が利用しやすい図書館づくりに努めている。

(3)　図書館資料整備事業

あらゆる人々の多様なニーズに応えていくため、図書資料、視聴覚資料、郷土・行政資料など、幅広く奥行きのある蔵書の収集、整理、保存に努め、図書館サービスの充実を図っている。

(4)　読書活動支援事業

図書館や学校等でのボランティア活動を支援するために施設等の提供を行い、読み語り講座や対面朗読のボランティア養成講座を実施している。

また、課題解決型読書支援として、図書館の使い方講座、調べもの講座など、各種支援講座を実施している。

(5)　情報発信事業

展示ギャラリー等での地域情報の発信のほか、市報さが、図書館だより、市立図書館ホームページ、マスコミ等を活用した様々な情報発信を行っている。

(6)　分館・分室運営事業

公民館等内に設置された分館（大和館、諸富館、東与賀館、富士館、三瀬館、川副館、久保田館）では、地域の利用者ニーズに応じた特色ある図書館運営を行いながら、地域の学校やボランティアとの連携を図ることで利用促進に努めている。

また、市街周辺部（開成、金立、鍋島、高木瀬、本庄、巨勢）の公民館内に設置した分室においても定期的にイベントを実施し、地域住民や高齢者等の図書館の利用推進を図っている。

(7)　自動車図書館運営事業

交通が不便な山間部や遠隔地で運行している自動車図書館は、随時、サービスステーションを見直しながら、すべての市民が身近に利用できるように図書館サービスに努めている。

(8)　図書館ネットワークの充実

利用者が貸出・返却場所を自由に選べるように本館、分館、分室、自動車図書館での資料の流通を図っている。

また、相互貸借制度を利用し、市立図書館に所蔵していない図書資料を他の公共図書館から借り受けて利用者に提供している。

そのほか､市立小・中学校との資源共有を進め､資源の効率的な活用を図るとともに､学校図書館への支援を通して児童生徒の学習、読書活動を支援している。

(9)　図書館サービスの充実

利用者のニーズに応じた資料の貸出・返却、ＡＶ(視聴覚資料)館内視聴サービス、目の不自由な方や小さい字が読みづらい方のための対面朗読などのハンディキャップサービス、子どもに本との出会いを提供する児童サービス、青少年の読書活動を推進するヤングアダルトサービス、資料等に関する相談に応じるレファレンスサービスを行っている。

また、図書館資料の検索や予約ができるＷｅｂサービスの充実を図っている。

(10)　図書館資料リユース（再使用）の推進

市立図書館で除籍した図書資料を学校図書館、公共施設、市民に再使用してもらい、資源のリユースを推進している。

(11)　市民との協働、ボランティアの推進

市民とのパートナーシップを推進し、市民と協働して図書館サービスの充実を図る。

また、ボランティア養成のための講習会等を定期的に行い、継続していくことでボランティアの確保に努める。

(12)　子どもの読書活動推進事業

平成 30 年度に策定した「佐賀市子どもの読書活動推進計画（令和 5 年度修正、令和 6 年度～令和 10 年度）」をもとに、関係課である学校教育課・こども健康課と協力しながら、子ども達が読書に親しむための環境づくりに取り組む。

(13)　図書館大規模改修事業

図書館本館は、建築物・設備が老朽化していることから大規模な改修を行う。同時に誰にとっても開放的で居心地のよい空間を提供して、多くの人が集う図書館を整備する。

(14)　電子図書館システム運用管理事業

図書館への来館や紙の書籍の利用が難しい人へのサービスを充実させ、郷土関連資料（行政資料・郷土資料・市民の学習の成果など）を整理・公開する。

○　佐賀市立図書館利用案内

<table>
<tr><th colspan="2">項　目</th><th colspan="3">内　　容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">開館時間</td><td>本館・大和館・諸富館・富士館・東与賀館</td><td colspan="2">火～土曜日 10:00～19:00（富士館は 18:00 まで）
日曜・祝日 10:00～17:00</td></tr>
<tr><td>三瀬館・川副館・久保田館・分室（開成・金立・鍋島・高木瀬・本庄・巨勢）</td><td colspan="2">火曜日　　12:00～17:00
水曜日～土曜日 10:00～17:00</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2</td><td rowspan="3">休　館　日</td><td>休館日</td><td colspan="2">毎週月曜日（祝日のときは翌日）、年末年始
※三瀬館・川副館・久保田館・分室は日曜・祝日休館</td></tr>
<tr><td>館内整理日</td><td colspan="2">12 月を除く毎月最終木曜日
（祝日のときは翌日）</td></tr>
<tr><td>特別整理期間</td><td colspan="2">年 7 日以内</td></tr>
<tr><td>3</td><td>貸出の対象</td><td colspan="3">①　佐賀中部広域連合構成市町に在住する者
②　佐賀市内に通勤、通学する者
③　その他館長が認める者</td></tr>
<tr><td rowspan="5">4</td><td rowspan="5">個人貸出</td><td>資　料</td><td>数　量</td><td>期　間</td></tr>
<tr><td>図　書　資　料</td><td>15 点以内</td><td>2 週間以内</td></tr>
<tr><td>ビデオ・DVD</td><td>合わせて 2 点以内</td><td>2 週間以内</td></tr>
<tr><td>CD・カセット</td><td>合わせて 3 点以内</td><td>2 週間以内</td></tr>
<tr><td>絵　　画</td><td>1 点</td><td>1 箇月以内</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td rowspan="2">団体貸出</td><td>図　書　資　料</td><td>1,000 冊以内</td><td>3 箇月以内</td></tr>
<tr><td>その他の資料</td><td colspan="2">個人貸出の例による</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td rowspan="2">集　会　室</td><td>多目的ホール
（165 ㎡）</td><td colspan="2">図書館法による集会活動。ただし、図書館運営に支障のない範囲内で一般の利用に供する。
○使用料
[10 時～12 時 2,200 円] [13 時～17 時 4,400 円]
[18 時～21 時 4,400 円]
※営利目的、政治活動、宗教活動は利用できない。</td></tr>
<tr><td>大集会室
（100 ㎡）</td><td colspan="2">図書館法による図書館活動に沿った利用等。
※営利目的、政治活動、宗教活動は利用できない。</td></tr>
<tr><td>備考</td><td colspan="4">※「図書資料」とは、本・雑誌・紙芝居のことで、雑誌についてはバックナンバーを貸出対象としている。
※貴重本等については、館外貸出規制を設けているものもある。
※佐賀中部広域連合構成市町　4 市 1 町
（佐賀市、多久市、小城市、神埼市、吉野ヶ里町）</td></tr>
</table>

○　図書館利用統計

年度		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
本館入館者数		354,927	360,625	377,284	373,019	368,531
市内個人登録者数		86,568	86,742	87,076	87,309	87,981
貸出点数	本館	994,543	950,201	892,935	857,918	826,057
	大和館	162,284	146,317	152,471	151,659	152,133
	諸富館	59,425	56,235	51,591	50,753	43,857
	東与賀館	49,779	47,079	45,258	44,231	40,993
	富士館	22,514	20,342	16,579	15,077	15,401
	三瀬館	7,164	6,690	5,431	5,520	4,595
	川副館	23,708	21,065	17,510	18,063	18,445
	久保田館	23,900	22,136	21,325	20,375	21,408
	自動車図書館・本館団体貸出	19,410	17,659	15,037	15,047	15,622
	開成分室	28,247	23,451	23,256	20,508	18,245
	金立分室	32,329	26,639	23,565	29,929	29,907
	鍋島分室	46,810	46,400	42,177	42,351	41,869
	高木瀬分室	46,657	43,715	37,760	34,037	30,389
	本庄分室	44,610	42,722	40,368	39,941	37,343
	巨勢分室	30,811	30,813	27,987	24,935	29,569
	合計	1,592,191	1,501,464	1,413,250	1,370,344	1,325,833
資料所蔵数		794,912	786,236	782,972	778,652	771,304
予約点数		182,601	181,767	184,543	214,836	219,153
レファレンス件数		31,855	31,595	32,095	28,857	31,315
本館開館日数		289	289	286	288	290
本館入館者／日		1,228	1,248	1,319	1,295	1,271
貸出点数／日		5,509	5,195	4,941	4,758	4,572
予約点数／日		632	629	645	746	756
レファレンス件数／日		110	109	112	100	108